

令和7年8月2日（土）《午後》
第12期Bコース研修生 「修了式」

令和7年8月2日（土）に、第12期生Bコースの「修了式」が教職員研修センター視聴覚ホールで挙行されました。修了生、修了生保護者、教育庁関係者が列席しました。研修生は令和5年7月に次世代リーダー育成道場に入校後、国内での研修と令和6年8月から約1年のアメリカ・カナダでの留学生活を経てこの修了式を迎えました。

はじめに、研修生一人一人に、東京都教職員研修センター企画部長から、修了証書が授与されました。

修了証書授与後に東京都教職員研修センター企画部長から、「皆さんは留学先で様々な困難を乗り越え、多様な価値観を理解する姿勢・態度、課題解決に向けて異なる文化的背景を持つ人々と協働する力、そしてそれに必要なコミュニケーション能力を培われたことと思います。皆さんには、その経験を生かし、次世代リーダー育成道場で得たかけがえのない経験を自分の言葉で周囲の人々に伝えること、身につけた力を地域や社会に還元すること、そして夢や目標の実現に向けて具体的な行動を起こすことの3点を期待しています。」と、研修生を激励する言葉がありました。

続いて、修了生代表から、「今回の留学で「架け橋」になるという私自身の目標を完全に達成できたわけではありませんが、その目標に向かって歩むためには、他者と協力し合い、理解しあうためには多様な価値観を受け入れる柔軟性、継続的な努力が必要不可欠なことなど、何が必要なのか学ぶことができました。今後、着実に成長を重ね、いつか本当の意味での人と人、文化と文化をつなぐ存在となれるよう努力を重ねていきます。」と留学の経験を踏まえて、さらに成長しようとする姿勢を述べました。

研修生たちは、次世代リーダー育成道場のプログラムを終了したという達成感に満ちていました。



令和7年8月2日（日）《午後》
第12期Bコース研修生 「成果発表会」

修了式に引き続いて、研修生が研修成果を発表しました。英語によるスピーチでは、代表3名が「Going Beyond the Comfort Zone ; My Journey in Model UN」（「コンフォートゾーンを超えて；私の模擬国連への長い道のり」）、「Know Your Role」（「自分の役割を知ること」）、「Knowing Myself」（「自分の役割を知ること」）をテーマに発表しました。自信溢れる落ち着いたスピーチでした。

ゼミナール研究の発表では、代表2名が「次世代に受け継ぐ再生型観光の在り方～カナダ及び日本の観光を取り巻く状況から探る～」、「COOL JAPAN FROM A GLOBAL PERSPECTIVE～How to Make Japan Even More Loved Around the World」（「世界目線のクールジャパン戦略～さらに愛される日本にする～」）という研究テーマで発表しました。日本とアメリカ合衆国・カナダでの1年半に及ぶ研究であり、現代社会の課題解決を探る内容の濃い発表でした。様々な体験を通して成長したことがうかがえました。

